

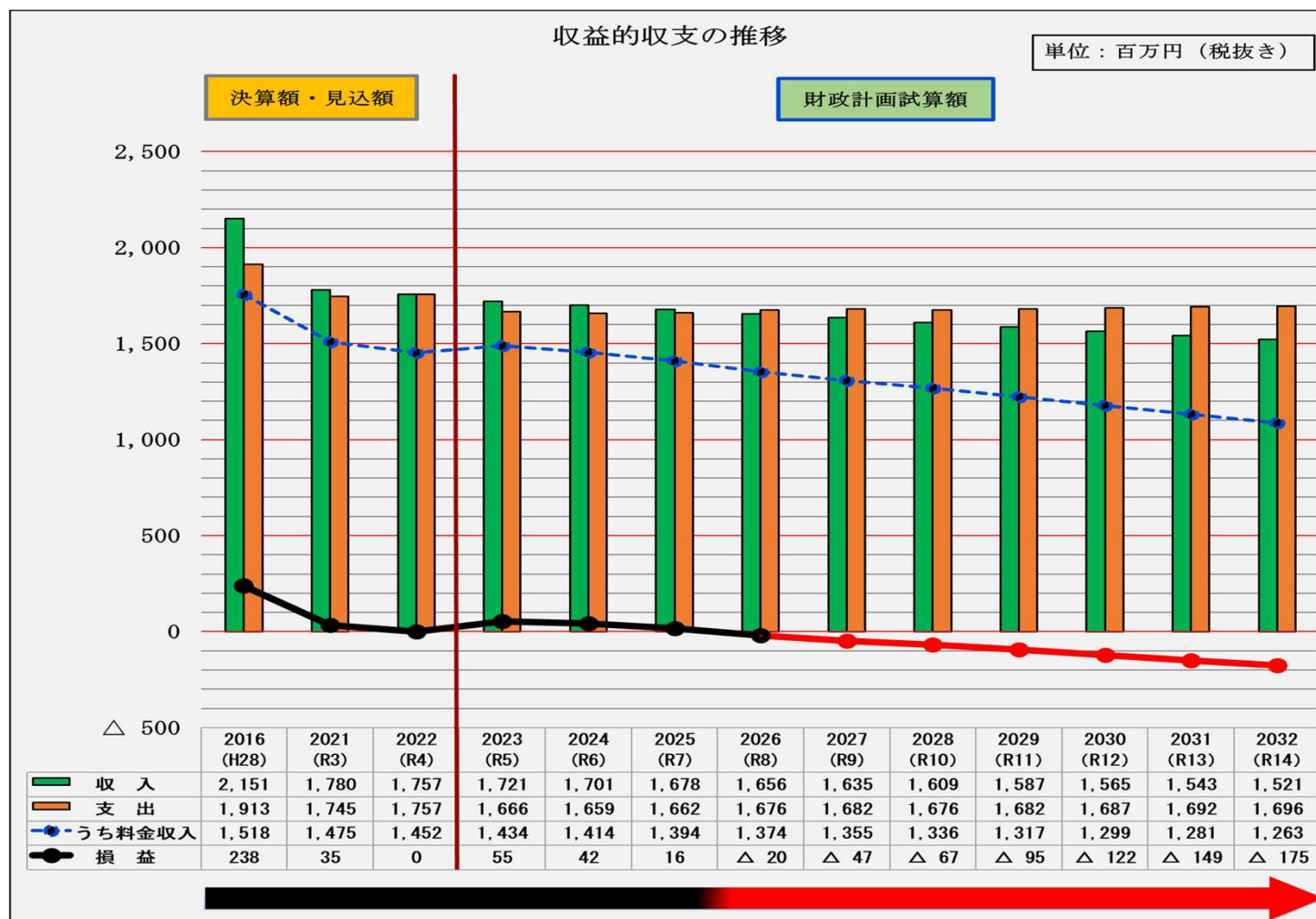
(2) 経営状況の推移 ・ 水道事業の経理 (用語の確認)

資料1-2

水道の企業活動は、「収益的収支」と「資本的収支」という、2つの財布に区分して複式簿記で経理しています。

- ① **収益的収支**・・・年度内に発生する、水を供給して料金をいただく営業活動に関わるすべての収入とすべての費用の収支のことです。 **(経営成績)**
-
- ② **資本的収支**・・・水道施設の整備に必要な補助金や企業債（借入金）の収入と施設整備費や企業債の元金返済の支出の収支のことです。 **(資産投資)**
-
- ③ **損益**・・・年度ごとの収益的収支の利益（黒字）と損失（赤字）のことです。 **(採算)**
-
- ④ **減価償却費**・・・水道施設は、整備すると何年も使うことができます。この整備に要した費用は、決められた耐用年数の期間に割り振り費用にすることができます。したがって、現金の支出がない年も費用が認められるので、その分を手元に残して積み立てておくことができます。但し、補助金を充てた場合は、減価償却費から補助金相当分を「長期前受金戻入」として差し引いた額が資金になります。 **(手元の資金)**
-
- ⑤ **資金**・・・減価償却費など、実際にお金の支出がない費用を計上することによって、手元に残る資金のことです。内部留保資金とも呼ばれ、企業債（借入金）の返済や将来の施設整備費の財源に使われることとなります。 **(将来の財源)**

(2) 経営状況の推移 ・ 収益的収支の推移



前回説明しました、経営状況の推移を比較しやすいように表を整理しました。

① 収入は、1.4%の人口減少が影響するため、**料金収入の減額**が見込まれます。

② 支出は、企業債（借入金）が減少するため支払利息は**減額**します。しかし、施設整備の投資が増加するので、**減価償却費は増額**するため、結果は**横ばいで推移**します。

③ 損益は、**令和8年度から損失**に変わり、以降も継続します。また、**料金収入の折れ線グラフと損益の折れ線グラフの傾きが比例**しているのがわかります。

今後の利益を確保するには、**経費の大幅な削減**もしくは、**料金収入の増額が必要**になることがわかります。

(2) 経営状況の推移 ・ 主な科目の推移 ① 「維持管理費」について

前回の資料3 別紙①

現行の水道料金で試算した財政見通し(R5~R14) (単位: 百万円(税抜))

●収益的収支

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
業務量	年間有収水量(千m ³)	5,770	5,689	5,609	5,530	5,453	5,377	5,302	5,228	5,155	5,083
収入	営業収益	1,444	1,424	1,404	1,384	1,365	1,348	1,327	1,309	1,291	1,273
	うち料金収入	1,434	1,414	1,394	1,374	1,355	1,338	1,317	1,299	1,281	1,263
	営業外収益	88	88	87	86	86	85	85	84	83	83
	長期前受金戻入	209	209	207	206	204	198	195	192	189	185
計①	1,721	1,701	1,678	1,656	1,635	1,609	1,587	1,565	1,543	1,521	
支出	維持管理費(人件費含)	572	572	572	572	572	562	562	562	562	562
	うち職員給与費	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
	うち動力費ほか経費	494	494	494	494	494	484	484	484	484	484
	支払利息	81	88	59	53	49	47	44	41	38	35
	減価償却費等	1,013	1,019	1,031	1,051	1,061	1,067	1,076	1,084	1,092	1,099
	うち既存資産	979	960	945	935	921	902	885	862	839	819
うち新規資産増加分	34	59	86	116	140	165	191	222	253	280	
計②	1,666	1,659	1,662	1,676	1,682	1,676	1,682	1,687	1,692	1,696	
損益 ①-②	55	42	16	△20	△47	△67	△95	△122	△149	△175	

●資本的収支

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
収入	企業債	729	828	814	732	801	818	830	805	583	603
	出資金・負担金・補助金	28	28	27	27	17	17	17	17	14	13
	その他	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
計①	770	869	854	772	831	648	660	635	590	629	
支出	事業費	708	757	775	711	778	751	785	737	707	752
	企業債元金	1,058	1,020	928	863	828	649	603	626	658	652
計②	1,764	1,777	1,701	1,574	1,606	1,400	1,368	1,363	1,365	1,404	
不足額 ①-②	△994	△908	△847	△802	△775	△752	△708	△728	△775	△775	

●資金収支及び企業債残高

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
資金収支	損益前定留保資金①	804	810	824	845	857	869	881	892	903	914
	資本的収支不足額②	△994	△908	△847	△802	△775	△752	△708	△728	△775	△775
	資本的収支消費残高③	64	69	70	65	71	68	70	67	64	68
	差引 ④=①+②+③	△126	△29	47	108	153	185	243	231	192	207
	収益的収支増益⑤	55	42	16	△20	△47	△67	△95	△122	△149	△175
	資金残高	1,577	1,590	1,653	1,741	1,847	1,965	2,113	2,222	2,265	2,297
企業債残高	6,948	6,756	6,844	6,513	6,486	6,455	6,482	6,461	6,368	6,317	

①

現行水道料金で試算した財政見通しの支出のうち、「維持管理費」について説明します。

- ① 維持管理費 572百万円の内訳は、
 - 職員給与費が78百万円
 - 動力費及び修繕費、材料費などの営業経費が494百万円

令和4年度予算額を基礎に算定しています。令和9年までの5年間も、同じように支出が見込まれますので、同額としています。

なお、現在取組んでいる非常用水源常用化によって、経費の削減が図られることを見込み、令和10年以降は、562百万円としています。

(2) 経営状況の推移 ・ 主な科目の推移 ② 「減価償却費等」について



前回の資料3 別紙①

現行の水道料金で試算した財政見通し(R5~R14) (単位: 百万円(税抜))

●収益的収支

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
業務量	年間取水量(千m ³)	5,770	5,889	5,809	5,530	5,453	5,377	5,302	5,228	5,155	5,083
収入	営業収益	1,444	1,424	1,404	1,384	1,365	1,348	1,327	1,309	1,291	1,273
	うち料金収入	1,434	1,414	1,394	1,374	1,355	1,338	1,317	1,299	1,281	1,263
	営業外収益	88	88	87	86	86	85	85	84	83	83
	長期前受金戻入	209	209	207	206	204	198	195	192	189	185
計①	1,721	1,701	1,678	1,656	1,635	1,609	1,587	1,565	1,543	1,521	
支出	維持管理費(人件費含)	572	572	572	572	572	562	562	562	562	562
	うち職員給与費	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
	うち動力費ほか経費	494	494	494	494	494	484	484	484	484	484
	支払利息	81	88	59	53	49	47	44	41	38	35
	減価償却費等	1,013	1,019	1,031	1,051	1,061	1,067	1,076	1,084	1,092	1,099
うち既存資産	979	960	945	935	921	902	885	862	839	819	
うち新規資産増加分	34	59	86	116	140	165	191	222	253	280	
計②	1,666	1,659	1,662	1,676	1,682	1,676	1,682	1,687	1,692	1,696	
損益 ①-②	55	42	16	△20	△47	△67	△95	△122	△149	△175	

●資本的収支

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
収入	企業債	729	828	814	732	801	818	830	805	863	803
	出資金・負担金・補助金	28	28	27	27	17	17	17	17	14	13
	その他	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	計①	770	869	854	772	831	848	860	835	890	829
支出	事業費	708	757	775	711	778	751	765	737	707	752
	企業債元金	1,058	1,020	926	863	828	849	803	826	858	852
計②	1,764	1,777	1,701	1,574	1,606	1,400	1,368	1,363	1,365	1,404	
不足額 ①-②	△994	△908	△847	△802	△775	△752	△708	△728	△775	△775	

●資金収支及び企業債残高

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
資金収支	損益勘定留保資金①	804	810	824	845	857	869	881	892	903	914
	資本的収支不足額②	△994	△908	△847	△802	△775	△752	△708	△728	△775	△775
	資本的収支消費税調整額③	64	68	70	65	71	68	70	67	64	68
	差引 ④=①+②+③	△126	△29	47	108	153	185	243	231	192	207
	収益的収支損益⑤	55	42	16	△20	△47	△67	△95	△122	△149	△175
	資金残高	1,577	1,590	1,653	1,741	1,847	1,965	2,113	2,222	2,265	2,297
企業債残高	6,948	6,756	6,644	6,513	6,486	6,455	6,482	6,461	6,388	6,317	

現行水道料金で試算した財政見通しの支出のうち、「減価償却費等」について説明します。

① 減価償却費等の内訳は、既存の資産と新規に取得する資産の減価償却費です。

既存の資産は、更新され取り壊されるものや耐用年数を経過して減価償却費がゼロになるものがあるので、**既存の資産の減価償却費は年々減額**していきます。

一方、毎年の施設整備で新規の資産を取得しますので、**新規資産増加分の減価償却費は年々増額**することになります。



結果、既存資産の減額よりも新規の資産の増額分が大きいため、**減価償却費は年々微増**していくことになります。

(2) 経営状況の推移 ・ 主な科目の推移 ③資金残高について

前回の資料3 別紙①

現行の水道料金で試算した財政見通し(R5~R14) (単位:百万円(税抜))

●収益的収支

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
業務量 年間有収水量(千m ³)	5,770	5,889	5,809	5,530	5,453	5,377	5,302	5,228	5,155	5,083
営業収益	1,444	1,424	1,404	1,384	1,365	1,348	1,327	1,309	1,291	1,273
うち割合収入	1,434	1,414	1,394	1,374	1,355	1,338	1,317	1,299	1,281	1,263
営業外収益	68	68	67	66	66	65	65	64	63	63
長期前受金戻入	209	209	207	206	198	195	192	189	185	
計①	1,721	1,701	1,678	1,656	1,635	1,609	1,587	1,565	1,543	1,521
維持管理費(人件費合)	572	572	572	572	572	562	562	562	562	562
うち職員給与費	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
うち動力費ほか経費	494	494	494	494	494	484	484	484	484	484
支払利息	81	88	59	53	49	47	44	41	38	35
減価償却費等	1,013	1,019	1,031	1,051	1,067	1,076	1,084	1,092	1,099	
うち既存資産	979	960	945	935	921	902	885	862	839	819
うち新規資産増加分	34	59	86	116	140	165	191	222	253	280
計②	1,666	1,659	1,662	1,676	1,682	1,676	1,682	1,687	1,692	1,696
損益 ①-②	55	42	16	△20	△47	△67	△95	△122	△148	△175

●資本的収支

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
企業債	729	828	814	732	801	818	830	805	868	803
出資金・負担金・補助金	28	28	27	27	17	17	17	17	14	13
その他	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
計①	770	869	854	772	831	848	860	835	895	829
事業費	706	757	775	711	778	751	765	737	707	752
企業債元金	1,059	1,020	929	863	828	649	603	626	658	652
計②	1,764	1,777	1,701	1,574	1,606	1,400	1,368	1,363	1,365	1,404
不足額 ①-②	△994	△908	△847	△802	△775	△752	△708	△728	△775	△775

●資金収支及び企業債残高

年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
損益勘定留保資金①	804	810	824	845	857	869	881	892	903	914
資本的収支不足額②	△994	△908	△847	△802	△775	△752	△708	△728	△775	△775
資本的収支消費税調整額③	64	69	70	65	68	70	67	64	64	68
差引 ④=①+②+③	△126	△29	47	108	153	185	243	231	192	207
収益的収支損益⑤	55	42	16	△20	△47	△67	△95	△122	△148	△175
資金残高	1,577	1,590	1,653	1,741	1,965	2,113	2,222	2,265	2,297	
企業債残高	6,848	6,786	6,844	6,513	6,513	6,455	6,482	6,481	6,366	6,317

現行の水道料金で試算した財政見通しの「資金収支」のうち、「資金残高」について説明します。

④1 資金残高は、次のように計算されます。
(数字は、R8を例に計算しています。)

ア 減価償却費等
1,051
-
イ 長期前受金戻入
206
+
ウ 資本的収支不足額
△802

+
エ 消費税調整額
65
+
オ 当年度損益
△20

今年の資金 (R8)

+

カ 昨年の資金残高
1,653

=

キ 資金残高
1,741

※収益的収支が損失であっても、減価償却費等の額が多い場合や資本的収支不足額が少ない場合には、資金残高が増えます。